

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」①>

年 組 号 名前

次の(1)から(5)までの にあてはまる数を書きましょう。

$$(1) 15 + 100 = \boxed{} + 15$$

$$(2) 30 \times 29 = 29 \times \boxed{}$$

$$(3) (44 + 57) + 23 \\ = 44 + (\boxed{} + 23)$$

$$(4) 25 \times 14 = 25 \times (10 + \boxed{})$$

$$(5) 51 \times 3 + 19 \times 3 \\ = (51 + 19) \times \boxed{}$$

次の(1)から(5)までの にあてはまる数を書きましょう。

$$(1) 15 + 100 = \boxed{100} + 15$$

【ポイント】

計算のきまり $(\blacksquare + \bullet) = (\bullet + \blacksquare)$ をつかきましょう。

$$(2) 30 \times 29 = 29 \times \boxed{30}$$

【ポイント】

計算のきまり $(\blacksquare \times \bullet) = (\bullet \times \blacksquare)$ をつかきましょう。

$$(3) (44 + 57) + 23$$

$$= 44 + (\boxed{57} + 23)$$

【ポイント】

計算のきまり $(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$ をつかきましょう。

$$(4) 25 \times 14 = 25 \times (10 + \boxed{4})$$

【ポイント】

計算のきまり $\blacksquare \times \bullet = \blacksquare \times (\blacktriangle + \star)$ をつかきましょう。

$$(5) 51 \times 3 + 19 \times 3$$

$$= (51 + 19) \times \boxed{3}$$

【ポイント】

計算のきまり $\blacksquare \times \bullet + \blacktriangle \times \bullet = (\blacksquare + \blacktriangle) \times \bullet$ をつかきましょう。

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」②>

年 組 号 名前

さち子さんとよしおさんは、500円玉1枚をそれぞれもって文ぼう具店に来ています。次の(1)，(2)の問いに答えましょう。

- (1) さち子さんは、250円のはさみと120円ののりを買いました。500円を出すとおつりがいくらになるか計算しています。



言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。
また、答えもかきましよう。

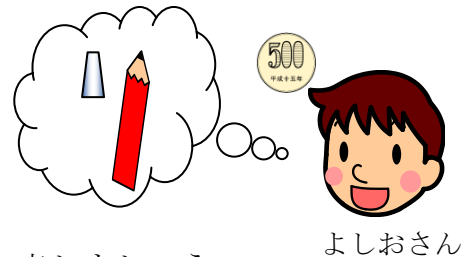
出したお金	—	のりとはさみの代金	=	おつり
	—		=	

計算コーナー

答え

円

- (2) よしおさんは、1本75円のえんぴつと、1こ25円のえんぴつキャップを1組にして買おうと考え、500円では、何組買えるか計算しています。



言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。

もっているお金	÷	えんぴつとキャップ 1組の代金	=	買える組の数
	÷		=	

計算コーナー

答え

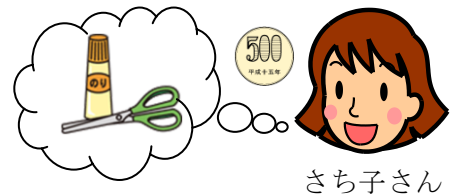
組

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」②>

答え

さち子さんとよしおさんは、500円玉1枚をそれぞれもって文ぼう具店に来ています。次の(1)，(2)の問いに答えましょう。

- (1) さち子さんは、250円のはさみと120円ののりを買いました。500円を出すとおつりがいくらになるか計算しています。



さち子さん

言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。
また、答えもかきましょう。

出したお金	−	のりとはさみの代金	=	おつり
500	−	(250 + 120)	=	130

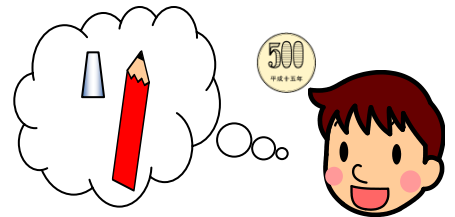
【ポイント】

代金にあたる部分がどこになるか考えましょう。代金にあたる部分は、() でひとまとめにしましょう。

答え

130円

- (2) よしおさんは、1本75円のえんぴつと、1こ25円のえんぴつキャップを1組にして買おうと考え、500円では、何組買えるか計算しています。



よしおさん

言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。

もっているお金	÷	えんぴつとキャップ 1組の代金	=	買える組の数
500	÷	(75 + 25)	=	5

【ポイント】

1組のねだんがいくらになるか考えましょう。1組の代金にあたる部分は、() でひとまとめにしましょう。

答え

5組

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」③>

年 組 号 名前

例にならって、(1)から(3)の式になるような問題をつくりましょう。

(例) $200 - 50 \times 3$

太郎さんは、50円のリンゴを3こ買って、200円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

(1) $1000 - 100 \times 5$

(2) $50 \times 4 + 30 \times 2$

(3) $(20 + 30) \div 5$

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」③>

答え

例にならって、(1)から(3)の式になるような問題をつくりましょう。

(例) $200 - 50 \times 3$

太郎さんは、50円のリンゴを3こ買って、200円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

(1) $1000 - 100 \times 5$

(例)
あき子さんは、100円のえん筆を5本買って、1000円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

【ポイント】「100が5こ分」というグループを作って、全体(1000)からひく場面をイメージしましょう。

(2) $50 \times 4 + 30 \times 2$

(例)
お母さんが買い物をしています。50円のトマトを4こ、30円のピーマンを2こ買いました。代金は、いくらでしょう。

【ポイント】「50が4こ分」「30が2こ分」というグループを作って、その2つの合計を求める場面をイメージしましょう。

(3) $(20 + 30) \div 5$

(例)
4年生は、男の子が20人、女の子が30人います。4年生みんな
で5つのグループを作りたいと思います。1つのグループは、何人になるでしょう。

【ポイント】20と30を合わせて、その合わせたものを5つに等しく分ける場面をイメージしましょう。